

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズルームばんびーに小美玉館					公表日	2026 年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%		室内で体操やダンスをする時は、テーブル・椅子等は別室に移し、部屋を広くして活動しています。	基準は十分満たしていますが、利用者数が多いと狭く感じることがあります。		
	2	職員の配置数は適切であるか	20%	80%			適切な配置数以上に常に職員を配置していますが、個別対応が必要な利用者様が多いので、足りなく感じる日もあります。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	50%		室内はバリアフリー化しています。個々の障害の特性に応じ、写真を用いたタイムスケジュールや文字や絵カードで情報伝達を行っています。	玄関は段差があるので、職員が寄り添い気を付けて上り下りする必要があります。		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%			パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%			パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	90%	10%			パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10%	80%	10%		現在義務化ではないため行ってはいたませんが、今後第三者による外部評価を検討します。		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20%	80%			社外研修の機会は程よく行われていますが、受講者がやや固定化されているので、社内研修を充実していきたいと思えます。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%		10%				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%	10%		従来よりインフォーマル（法律や制度に基づかない）な様式でアセスメントしていますが、今後は日々の行動観察を重視した様式を検討していきます。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	70%	30%			立案をチームで行っていますが、職員全体に分かりやすく情報を共有いたします。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	70%	30%		やや固定化してきていたので、チーム分けをしたり、内容を変えたり、子ども達一人一人の成長過程に合わせています。			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%			長期休暇の課題設定はギリギリになりがちなので、余裕を持って取り組みます。		
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%			現在集団活動の時間がや多いので、今後個別活動の時間も多く取り、より専門的に支援していきます。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%		毎日のミーティングは定着しています。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20%	70%	10%	支援終了後にミーティングが出来ない時でも、気になることなどはすぐに報告したり、翌日に振り返りの時間を設けています。			
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	10%	10%				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	70%	30%		日常生活のサポートを楽しく教えていき、子ども達の意見を聞きながら、余暇としてもいろんな遊びや体験をさせています。	4つの基本活動としては、地域の人たちと関わることが少ないので、今後積極的にその機会を設けていきます。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	50%	50%			適任者が参画し対応していますが、職員にも分かりやすく情報を共有いたします。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	90%	10%			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10%	90%		体制は整えてありますので、要請があれば関係機関と連携して対応いたします。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10%	80%	10%		相談支援専門員を介して、必要な情報共有と相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	90%	10%			相談支援専門員を介して、必要な情報提供はしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	70%	20%	10%		職員2名が研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80%	10%	10%		今年度は児童館に6回出掛け、地域の他の子どもと活動しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	80%	10%	10%		今年度は管理者、児童発達支援管理責任者が合わせて4回参加いたしました。来年度はさらに参加人数及び回数を増やしていきます。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	90%	10%			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	40%	10%		関わり方の助言等はしていますが、ペアレント・トレーニングは実施出来ておりません。今後検討いたします。
保護者への説明等	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	90%	10%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	70%	20%	10%		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	70%	20%	10%		11月に保護者会含む交流会を開催しました。多くの保護者様・ご兄弟様にご参加いただき予定でしたが、欠席の方も複数いらしたので、次回は開催時期や交流会内容等検討して実施したいと思います。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%	10%	10%		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	90%	10%			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	80%	20%			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	10%	10%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	10%	10%		現在のところ実施出来ておりません。今後の検討課題といたします。
非常時等の対応	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10%	90%			各マニュアルは策定済みですが、保護者様に周知されていない状況だったので、今後保護者面談等で取組内容の周知を図ります。
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%		虐待防止委員会を設置し、報告や助言、事例検討会を行い、第三者からの評価をいただくなどし虐待について周知を深めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10%	90%		契約書や計画書での身体拘束の同意書を面談時に説明して保護者様の同意を得ています。	計画書の記載欄を示し、職員に分かりやすく情報を共有いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	90%	10%			
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%		契約書や計画書での身体拘束の同意書を面談時に説明して保護者様の同意を得ています。	